

MⅡ-29-1

## 2026年度 大学院入学試験問題【Ⅰ期】

文学研究科 臨床人間学専攻（臨床心理学専修）博士前期課程

科目：論文・専門科目（辞書使用＝不可）〔3問必答。解答用紙は1問につき1枚を使用し、【Ⅱ】は問題番号を明記すること。〕

◎【Ⅰ】から【Ⅲ】の問題のすべてに解答しなさい。なお、解答用紙は1問につき1枚（問題【Ⅱ】は2枚）を使用しなさい。

【Ⅰ】次の事例を参考にしながら、心理療法において思春期の子どもとその保護者に接する際に治療者が心がけるべき留意点について述べなさい。

事例 A 加齢化にすぎっていた高校1年男子、不登校

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

〔出典〕村瀬基代子（1990）. 心理療法のかんどころ―心傷ついた人々の傍らにあつて― 金剛出版. 9-11.

【Ⅱ】以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

あなたはスクールカウンセラーとして中学校に勤務しているとします。その中学校から、中学1年生を対象として、4月から5月にかけて毎週1回、計4回（各回60分）、「心の健康」に関する授業を実施してほしいと依頼されました。

あなたは4回分の授業をどのように構成しますか、各回のテーマを示すとともに、その内容についてできるだけ具体的に記述してください。

【Ⅲ】以下の用語について、(1)から(8)までのうち5つを選択して、簡潔に説明しなさい（150～200字以内）。解答する際は、どの問題を選択したかがわかるように、問題の番号を明示しなさい。

- (1) カール・グスタフ・ユング (Carl Gustav Jung)
- (2) 社会的比較
- (3) 永遠の少年
- (4) 脱抑鬱型対人交流障害
- (5) 性的指向
- (6) カクテルパーティー効果
- (7) 比率IQと偏差IQの違い
- (8) 完全無作為1要因デザイン